

浅間山登山道、御代田口の整備を

現時点で、整備は難しい

池田 健一郎 議員



問 古くから御代田登山道は、浅間山登山の最短路として、町民及び多くの人々に親しまれ利用されてきた。しかし、昭和40年代半ばの中噴火で、登山禁止の発令以降登山道の手入れがされなくなり、いつの間にか地図からも消えてしまった。町の観光資源として、再開発するべきと思うが、町の考えを問う。

総務課長

浅間山登山道の開発は観光協会が積極的に取り組んできた。コースは御代田駅から浅間山頂まで4時間半の最短距離で、昭和40年代には、年間5千人を上回る記録がある。

昭和48年の噴火以降、火山性の地震が続き、



天狗の露地より見る浅間山

火山対策会議において登山が禁止となった。

小諸側からの登山コースなど一部の登山道に限り、火口から500メートルまで登れる状況だが、御代田の登山道では、防災面での情報伝達手段や避難壕などが整備されていないことから、火口から4キロ以内は立ち入り禁止区域となっている。

浅間山は上信越高原国立公園に指定されており、登山道の整備をするとなれば、防災無線の整備や避難壕、シェルター等の安全対策や公園管理の規制など、非常に多くの課題を解決しないと、環境省の許可が得られない。

現時点で登山道の整備を推進することは非常に難しい状況である。

新クリーンセンターの今後は

上層気象現地見学会を予定

古越 弘 議員



問 佐久市に建設予定の新クリーンセンターは、現在環境影響評価調査中である。当町における、今後の予定と進め方はどのように行うのか、町の考えを問う。

町民課長

現在、関係各區のご理解をいただいたなか、環境影響評価の現況調査を実施している。

猛きん類・鳥類・哺乳類の調査や地上気象・大気質調査および水質調査などの現況調査は、来年の1月まで実施され、環境にどのような影響を与えるか予測し、影響の程度を評価する。

この調査結果および予測評価、影響を提言するための保全対策などを記載した環境影響準備書を、来年4月を目途に取りまとめ、この準備書を公告・縦覧し説明会を行う。



定量調査風景

準備書についての意見書や更に町長の意見書を添えたものが、県環境影響技術委員会で審議される。

なお、本年7月中旬に上層気象現地見学会を、10月には、現況調査中間報告会を予定している。

また、地元区の要望などは、町が対応すべきものは町が行い、一部事務組合で対応すべきものは、町が責任をもって一部事務組合に要望していく。

町長

町のごみ処理に関しては、安全・安心・安定的な処理が行政として大きな課題であり、全力を挙げて取り組む決意に変わりはない。

新クリーンセンターで行うことを明確にし、流れをつくっていく。

交通弱者の移動手段は

タクシー事業を継続

野元 三夫 議員



問 町長は日頃より「住んでみたい町、住んで良かった町づくり」と言われているが、次の点について問う
 1、防災減災について
 2、交通弱者の移動手段について
 3、高齢者の生きがいについて
 4、公設の合葬式聖地について

総務課長
 1、今年度に入り、コメリ・サントリー・ツルヤさんと災害時における物資等の供給に関する協定を締結した。現在11の各種団体と協定を締結し、今後幅広いジャンルでの災害協定を考えている。

企画財政課長
 2、24年度70才以上の対象者約2千500名中、タクシー補助券を購入された方は311

人で、12・5%だった。町としてはこの事業を継続していく。

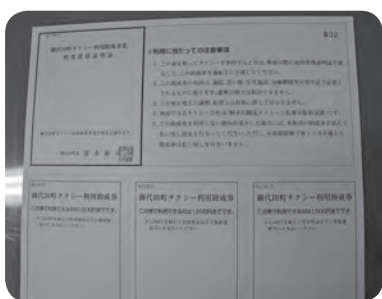
オン・デマンド交通については、高齢化率が上がり交通弱者が増えた時点での検証課題だと考えている。

保健福祉課長

3、介護予防、配食、見守りの支援、介護予防教室など先進的に行っている。軽度者や独居高齢者についての支援見直しも始めている。いつまでも住み慣れた御代田町で、生きがいを持って生活できる高齢者福祉の充実や、手助けの人材育成・確保に力を入れていく。

町民課長

4、多様化する住民ニーズや形態を調査研究していきたい。



タクシー券

延長保育料の見直しは

現在は実施できない

市村 千恵子 議員



問 昨年9月議会での一般質問の議論をふまえ、その後どのような検討がなされたか。町の考えを問う。
 1、同時入園の要件をなくし、第3子以上の保育料を無料に
 2、フルタイムで働く人の経済的負担軽減に延長保育料の見直しを

町民課長
 1、昨年12月に町の児童福祉施設事業運営委員会へ保育料徴収基準について諮問し、同月に「御代田町保育料徴収基準を現状のままの据置とする」との答申である。

同時入園要件をなくし、第3子以上の保育料の無料化は、受益者負担・負担公平の原則の観点や自律協働のまちづくり推進計画の考え方をふまえ、現行どおりである。

町長 現在のところ、検討した中で実施するという対応は難しい。

町民課長

2、延長保育時間中も通常保育同様に園児数に応じて保育士を配置し運営しており、近隣市町村と比べても当町の料金は平均的で適正であると認識している。

町長 この間、子育て支援で町独自の施策を段階的に進めてきている。一つひとつ実施する中で財政的にどのような影響を与えるか、その効果はどうか確かめながら進めている。現在のところ提案の内容の実施はできない。

